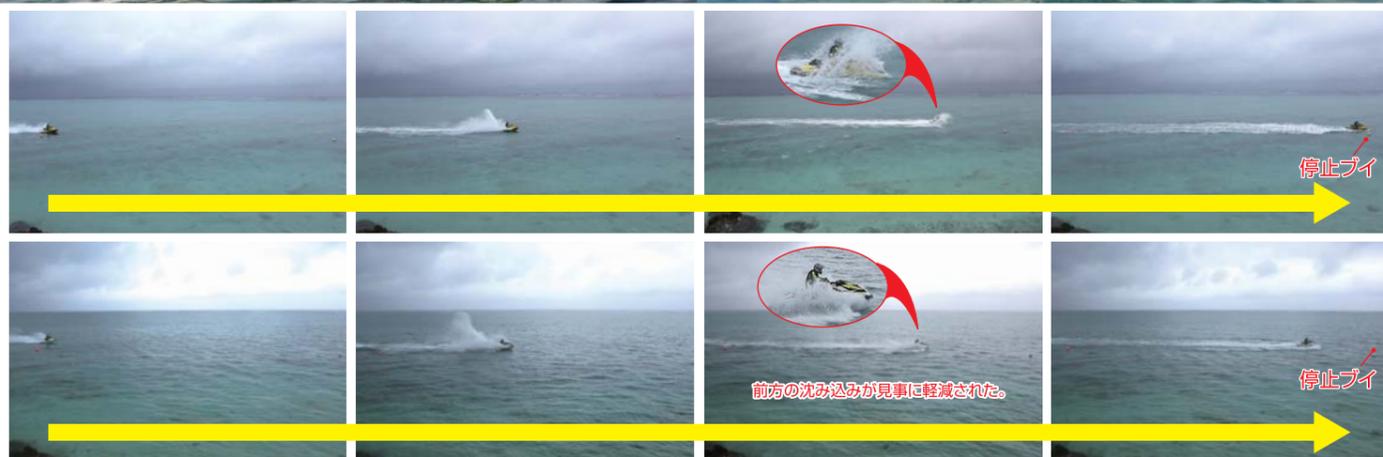


NEW MODEL IMPRESSION SEA-DOO RXP-X 300 RS



取材協力:BRPジャパン(株) 神奈川県川崎市川崎区東田町8 TEL: 044-200-1431 URL: www.brp-jp.com
 オートヒラカワ 沖縄県うるま市栄野比770番地 TEL 098-972-6131 URL http://www.auto-hirakawa.net/
 ホテル ムーンビーチ 沖縄県国頭郡恩納村字前兼久1203 TEL 098-965-1020 URL http://www.moonbeach.co.jp/



上が従来モデルのiBRで下がニューモデルのiBRを使用。進化したiBRは従来モデルと比較してもその差は歴然だ。パイの手前でしっかり減速した後に停止した。

RXP-X 300 RS

メーカー希望小売価格 ¥1,856,000 (税別)

- 全長×全幅 3330×1220mm ●乾燥重量 386kg
- 燃料タンク容量 60L ●総排気量 1630cc ●定員 2名
- 最大出力 300hp ●燃料 無鉛ハイオクガソリン



ついにシードゥーが300馬力の領域に足を踏み入れた。ラグジュアリーなボディからは想像もつかない豪快な加速と切れ味するどいコーナリングで、これまで数々のライダー達を魅了してきたシードゥーのPWC。今年も魅力的なラインナップが多数発表されており、早くも市場で大きな話題を集めている。今回はそんなラインナップの中でも300馬力という新しいフィールドに到達した2つのモデルをご紹介したいと思う。まずはRXP-X 300 RSをご紹介していこうと思う。ホワイトを基調とし、色合いも鮮やかなボディで見るものの視線を引き付ける魅力を持つこの

モデルは海外のレースシーンにおいても輝かしい実績を誇り、もはや走行性能に関しては疑いの余地はないだろう。T3ハルのクイックな旋回性能は圧巻の一言で、1つのコーナーで違いをまざまざと見せつける姿は見ていて清々しい気持ちにすらなる。そこに300馬力を生み出すエンジンが搭載されたのだから、もはや期待せずにはいられないのである。インプレッションでもさすがと思わせる加速感と旋回性で、すぐに気持ちを奪われてしまった。また、これだけの加速となると、そのスピードを味わっている間にしっかりとマシンと一体化する事が求められる



収納スペースはかなり確保されており、パネルも見たい位置をしっかりと認識可能。



シートや足元はニードグリップをより強める形状で、躍動感ある走りが可能だ。



ハルは専用T3ハル。ハイスピードで正確なコーナリングを実現してくれる。



上下3段階の調整が可能なスポンソンは小型のウイングレットを装備。また、パワフルな300hpのエンジンはもちろん、性能を上げているiBRにも注目したい。

のだが、エルゴロック・システムによりライダーとマシンがしっかりと一体化できるマシン形状になっており、高速走行時でもかなり高い密着感で走行を楽しむことができた。キツめにコーナーを旋回しても、しっかりと下半身でマシンとの一体感を感じながら操船できるので、乗り味が非常に面白い。また、アジャスタブル・スポンソンは上下3段階の調整が可能で、旋回時のマシンの安定性も自分のスタイルや好みで調整しても

面白いだろう。そして、今年のモデルはレッドとホワイトの2色から選択が可能となっており、ここでもそれぞれのライダー達の好みに分かれそうだが、まずはRXP-X300RSの持つエンジンとハルのコラボを、是非とも多くの方に実際に肌で感じ取って欲しいと思う。そうすればきっとこのモデルの速さと乗りやすさの両方を感じ取って頂けると思う。



NEW MODEL IMPRESSION SEA-DOO RXT-X 300 RS



RXT-X 300 RS

メーカー希望小売価格 ¥1,967,000 (税別)

- 全長×全幅 3530×1220mm ●乾燥重量 415kg
- 燃料タンク容量 60L ●総排気量 1630cc ●定員 3名
- 最大出力 300hp ●燃料 無鉛ハイオクガソリン



続いて紹介するのがRXT-X300RSだ。こちらも300馬力のパフォーマンスを持って余す事なく発揮出来るマシクオリティを誇っており、豪快な乗り味を体の負担も少なく楽しめるモデルである。S3ハルを採用し、パワフルなライディングを心ゆくまで楽しみ、カラーもホワイトとレッドの2色からチョイス可能なので、ここでも自分の色を出せそうである。また、こちらは3人乗りなので、300馬力の乗り味を3人で楽しめるというメリットも面白い。そして、レースシーンはもちろん、ツーリングにも最適なモデルのため、操作性の良さや迫力ある走りはツーリングの最中でも多くのライダーを満足させてくれそうだ。他にも体の大きさに合わせてハンドルの高さを調節したり、エルゴロックシートでマシンとの一体感を味わったりする事で、操船時の疲労もかなり軽減される事だろう。更には足を置くだけでヒザが内側を向くアングル・フットウェルが、より一層マシンとの一体感を高めてくれるのだ。これだけの高馬力モデル



ハンドルの高さも調整可能で、長時間の操船の疲労も軽減してくれそうだ。



進化したiBRIは是非試してほしい。パネルはアイコンの他に数値も見やすい。



ハルはS3ハルを採用。シート形状も工夫され、マシンとの一体感も味わえる。



座り心地の良いシート。エンジンは300馬力でS3ハルとのマッチングにより豪快な走りが楽しめる。スポンソンも操作性の良さを向上させている。



であれば、乗っていてその馬力を制御するにあたり、大きく体力を使うのかと思いきや、それもほとんどなく、逆にスムーズにライディングが楽しめてしまったのである。また、伸び幅のある加速性能は広大なグレンデに出た際には開放感抜群の走行を楽しめ、どこまでも走っていきそうな感覚は是非とも体験して頂きたい部分だ。これなら水面が多少荒れた時でも、ライダーだけでなく同船者にも大きな安心感を届けて

くれる事だろう。40馬力アップとなったエンジンは今までのシードゥのパフォーマンスの概念を大きく変えてくれる新たな可能性を秘めており、エンジンの馬力をしっかりとその乗り味に変えてくれるマシンのクオリティには改めて感心してしまった。やはりシードゥは高級感のあるボディに加えて、高い走行性能があるという事を改めて感じる事ができたのである。こちらもこの夏是非注目して頂きたい1艇である。